

活気と潤いがあり、みんなが「育つ」学校を目指して

自分の一歩 みんなの一歩

校長室だより II

朝霞市立朝霞第一小学校

令和3年4月21日

N o 5 (合同N o 1)

校長 野口 邦彦

活動無くして、「育つ」もない

埼玉県にまん延防止等重点措置の適応が決まりました。新型コロナウイルスの変異種の脅威が、いよいよ関東にも来たような気がします。



そんな中、今一番悩まされるのは6年生の修学旅行(5/13、14)と5年生の林間学校(6/16、17)です。昨年度は、新型コロナの状況悪化により、林間学校は中止、修学旅行は11月に延期となりました。今年度も、感染状況を見ながらではありますが、現時点では何とかこの日程で実施できればと願うばかりです。

昨年度、学校だよりで「積極的なwithコロナ」ということを書かせてもらいました。学校と言う場合は、子ども達が「育つ」場です。新型コロナの終息の目処が立たない以上、まだまだ感染防止の徹底と感染状況を見ながらの活動実施の日々は続きますが、必要以上に新型コロナを怖がり、学校の活動を中止してしまえば、子ども達の「育つ」もストップしてしまいます。子ども達は、国語や算数と言った学習ばかりで育つわけではありません。行事や委員会、クラブや休み時間など、様々な活動を通して育っていきます。修学旅行や林間学校もその一つです。新型コロナが怖いからと言って、必要以上に子ども達の行事や活動をやめてしまえば、子ども達の「育つ」にも影響してきます。もちろん、感染状況が悪化してくれば、中止と言う判断もせざる負えない時もあると思います。それでも「どうすればいいのか」「実施するためには、どんな感染防止対策が必要なのか」そんな知恵をみんなで出し合いながら、実施の方向を模索する。それが「積極的なwithコロナ」という事です。今年度も、この方向性で一つ一つの行事や活動に取り組んでいければと思います。そのためにも、まずは校内での感染防止、そして一人一人の健康チェックを徹底していきましょう。

怖いのはコロナだけじゃない、熱中症にも注意を

4月なのに真夏日が続いています。熱中症という
と夏場と考えがちですが、暑さになれないこの時期の方が危ないと言います。先生方も、子ども達の様子をよく観察していただき、水分補給やマスクの着脱など注意してください。もちろん、先生方自身の健康管理も。

何かを学ぶためには、
自分で体験する以上に
良い方法はない。